



希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

心豊かで たくましい
大門小児童の育成
<夢と目標をもち、
生き生きと活動する子ども>



トイレの神様

宮本 江津子

師走に入りました。校舎の裏のいちょうの木が、黄色く色づき、落ち葉の黄色いじゅうたんがとてもきれいです。銀杏も落ちています。寒さに負けず、子どもたちは元気に外遊びをしています。暑い夏に始まった2学期も、終わりが近づいてきました。今年も残りわずかです。

11月8日に行われた『チャレンジ強歩』では、地域の方・保護者の皆様に、たくさんのご協力をいただき、無事に終えることができました。インフルエンザが心配される中でしたが、6年生全員が3里(13.5キロ)の道のりを歩ききました。私も先頭を歩きましたが、無事に(ペースを守り、道を間違えることなく)歩くことができ、岩槻城址公園が見えてきた時には、ほっとしました。皆様のお陰で、子どもたちも、歩いたことのない距離を歩くことにチャレンジすることができました。本当にありがとうございました。先頭のグループの子どもたちは、史跡にきちんと目を向け「これが、庚申塔(青面金剛像)かあ。手がいっぱいある像だね。」と言ったり、見沼ヘルシーロードに入り、白鷺を見つけると『白鷺渡る 大門の~♪』と校歌を歌い始めたりしながら、楽しく歩いていました。ご協力いただいた、たくさんの方々に、心より感謝申し上げます。

さて、夏から続いているトイレ工事が終わり、新しいトイレが完成しました。このトイレをみんなで気持ちよく使い続けるために、一人ひとりがどのように気に気をつけたらよいか、確認していこうと思っています。

- 白い壁に手や足あとをつけないようにする
 - 手を洗ったら、きちんと手を拭く
 - トイレットペーパーを床に落とさない
 - トイレの中で気づいたことや、異常を見つけたら、すぐ先生に知らせる
- みんなで協力して、きれいなトイレを保っていけるよう、大切に使っていきます。

トイレには、神様がいると言われています。烏枢沙摩明王(うすさまみょうおう)という火の神様が不浄を清めるとされ、古くからトイレに祀られてきたそうです。トイレをきれいに保つと、運気があがるとされているそうです。大門小の新しいトイレもみんなできれいに使って、みんなの心も美しい心が育つといいなあと思っています。